

APL4  
file.03

20.12.19  
(SAT)

## 第4回 PHOTON DETECTOR 起動実験 (草案)

実験予定日：2020年1月上旬

実験担当者：[REDACTED]

### ・実験趣旨

光は音に変えられるのか、光に音はあるか。未だ謎の多い『光』と『音』の関係を、『PHOTON DETECTOR』（以降PD）を用いて探る。

第3回実験において検出された因子『LC5-NN7-OF6/8』の発生原因は何か。また、当因子が光にどのような影響をもたらすのか。

### ・仮説

因子『LC5-NN7-OF6/8』が光に作用することで、光は音に変換される。

### ・実験手順

1、前回同様に、『発光周期5、音数7』で因子の発生を観察する。→この時の発生形式に変化はあるか。（前回は6-8）

2、発生した因子に対し、新たに『発光周期1』の光を照射する。

2-1、（因子が前回と異なる場合）※協議中

2-2、※協議中

### ・因子表記に関して

LC5-NN7-OF6/8

↓

Luminous Cycle 5 - Number of Notes 7 - Occurrence Format 6/8

①

②

③

①発光周期……PDに照射する光の点滅周期

（上記の場合、5回点滅で一周期とみなす）

②音数……PDにおいて、発光一周期中に発音させる音の数。

（上記の場合、5回の点滅中に7音）

③発生形式……発光一周期中において、PDが検出した因子の発生パターン。

（上記の場合、6個と8個のグループに分かれたという意）

※因子の数え方は現在協議中につき、便宜上「個」としている。